

第99回教区記念祭執行 祭典後「天理時報普及推進大会」開催

時報によって毎週家庭に届けられる、
親神さま、おやさまの親心。



第563号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社

夏の名残の暑さ残る9月7日、前日まで局所的に雷や豪雨被害に見舞われていたが、この日講師をお迎えし、記念写真が撮られる頃には、好天となつて、9時半より第99回教区記念祭がつとめられ、西垣教区長を祭主に、祭儀式、座りづとめ、12下りのてをどりが、教区・支部役員などつとめられた。

その後、昨年9月6日早朝に起こった、胆振東部地震により中止を余儀なくされてから一年「天理時報普及推進大会」を昨年予定と同じく講師に本部布教



手配りひのきしん活動を映像で紹介

部布教二課長・中川徳弘先生（生駒大教会長）をお迎えして実施された。

先生は、「昨年開催された「ひのきしん者感謝の集い」での真柱様のお言葉を台に、「ようほく家庭に、もれなく『天理時報』を」「手配りひのきしんで、教友の絆を強めよう」とのスローガンについて、実例やご自身の体験も交えて、熱く語りかけられた。（内容は2ページに掲載）参加者百五名。

婦人会母親講座 道内5ブロックで開催

8月末には、毎年恒例の「ブロック別母親講座」が、道南、教務支庁、旭川、北見、稚内の5会場で開催され、子供の成長に欠かせない母親の心の成長と、信仰について、それぞれの講師の熱のこもった講話に聞き入った。

- Aブロック道南・145名
講師 高橋 太志先生
- Bブロック道央・222名
講師 松尾 真理子先生
- Cブロック道北・89名
講師 岩井 喜市郎先生
- Dブロック北見・112名
講師 廣岡 やよい先生

Eブロック稚内・31名
講師 五十嵐 仁先生

Bブロックの教務支庁会場では、松尾真理子(加古前支部長)先生が、「現在の子育てでは、父親、母親が平等に参画するという風潮になってきていますが、お道の「女は台」という教えの元を知ることが大切である事や、子育ての道中での、夫婦の心遣いを、十全の守護をときわけてお話ししました。また、理の御用を優先することの大切さを強調され、親の通り方から人だすけのできる、神様のお役に立てる子供に育てさせて頂くことを目標にと、子育て中の母親を鼓舞して下さいました。受講された方は、大変勇み心を頂いて、今後の子育ての中に生かしていきたいと仰っていました。

また、Cブロックの上川分教



会場には、岩井喜市郎(士別分教会長)先生がにこやかに登場。幼いころの事情から、祖母に育てられることとなり、学校の治め金のために新聞配達をしたが、ある時身上となり、痛



くて臥せっていたら、なければの大事なへそくりを、全部お供えされてしまった。しかし、その時の御供のお陰で、20年、30年たてば解ると云われた通り、今日の私は結構に通らせて頂いています。

目に見えないものが、私達を支えてくれている、それをこの信仰で分かって頂いていることを、子供さんや孫さんにもお伝えください、と話された。

以上、2会場の感想から。

天理時報普及推進大会講話要旨

「ようぼく家庭に もれなく「天理時報」を」「手配りひのきしんで、教友の絆を強めよう」

講師 本部布教部布教二課長 中川 徳弘先生
天理教生駒大教会長

皆様には、只今、第99回目の教区記念祭を勇んでおつとめ下された後で、誠におめでたい限りでありましょう。この大会は、昨年開催するはずだったので、ご存じの胆振東部大地震の被害をこらえて、土砂崩れ、地盤の沈下、ブラックアウトという異常な事態となり、空港、電車、水に食料などにお困りになられた方も大勢でした。心よりお見舞い申し上げます。

さて、天理時報ですが、昨年10月25日に、本部神殿で、「手配り10年、ひのきしん者の集い」が開かれました。5300名が集まって、お礼のおつとめと、真柱様からお労いの言葉と、心すべき点をお示しく下さいました。そこから道友社と布教部が一緒になって今後の進め方を話して、スローガンを二つ作りました。



一、ようぼく家庭に
もれなく「天理時報」を
二、手配りひのきしんで、
教友の絆を強めよう

まず二から見ますと、真柱様のお言葉にも「この活動は手配り活動とは呼ばずに、手配りひのきしんと言っております。ひのきしんとは形は様々でありますが、親神様に対する感謝の心が、その人の中にあるというのが、大切なところだ」と仰せられ、親神様の限らない御守護を身にかけて、朝のおつとめ、夕べのおつとめの折に、かしまの・かりもののお礼を申し述べ

ツーンと頭をぶつけました。大変だと思っただけ、手も足も動かない、辛うじて口が水面から出ている、弱弱しく、「助けてくれ」と言えて、初めて救急車に乗せられて診療所、大病院と行きました。お医者さんは「毎年これで亡くなる人多いんだよ」と言い。次に「あなたの首は折れてないしズレてないから、打撲です」「それより、後縦靭帯骨化症という難病です」と告げられました。」話によると、柔らかい靭帯が骨のように固くなると、首が固まり、手足が動かず、言葉も発せないで、寝たきりになるという事、これが分かった。そして、病気はあるけど、いま、発症してないというのです。しばらく打撲の痛みがありました。その後は何ともなく過ごせるのです。なんと有難い御守護の姿ではありませんか。



北森 あみさん(中1)
あみさん(中1)
天龍支部
高台分教会

私が「少ひ」で心に残ったことは。みんなに会った時です。初めてあった人の方が多かったけれど、先輩が盛り上げてくれたし「大丈夫?」「不安かもしないけど、大丈夫だと思うよ」

○少ひを終えて
今年度の少年ひのきしん隊おぢば練成会に参加しての、隊員感想文を一部披露させていただきます。

現代は5割の人が5年で移動する、15年で半数が変わるといわれます。そうなればこそ、絆が大切になってきます。ある方が遠くで暮らす娘に、天理時報を送ったら、世間の風潮に流されて疲れていたところだったので、紙面を広げただけで、おぢばの風を感じて、心が温かくなったという。

天理教会本部では、毎年「学生生徒修養会」を開催している。これは天理大学、天理高校、教学校園を除いた一般の大学、高校に通う学生生徒を対象とした修養会である。(立教182年現在では、一部変更があります。)

修養会は、育ちゆく若者に、生かされて生きる自覚と喜びを与え、心の修養が人生の上で最も大切である事を自覚して頂くためのものである。その上で人生の将来に大きな希望を持って頂くためである。毎年大学の部は3月に、高校の部は8月に一週間の日程で開催されていて、全国各地の学生生徒が参加している。

2017年の高校の部に、シンガポールに住む高校二年生の孫娘が、両親のすすめに応じて参加してくれた。私の娘と中国人である父との間に、オーストラリアで生まれ、現在は同じ英語を常用語としているシンガポールに居るので、日常生活は英語であるが、日本語も何不自由なく話せるので、参加しても心配はなかった。

一週間が過ぎて大変感動し、喜んで帰った後、修養会の事務局

から、教会宛の本人の感想文が送られて来た。参加者の体験やお話を聞かせて頂き、やはり人は他人と共にあって成長するものだと実感したこと。そして何よりも一番心に染みて学んだことは、人は心の持ち方一つで、どんな中からでも楽しく変えられる人生であることだ、と書かれていた。

随想三十一

修養は終生

木岡 昭

私は一読して、修養会に参加させて頂いたのは、先の人生のために大変有意義な経験だったと喜ばせて頂いた。

母親である娘は、主人と結婚する際、神様に終生感謝とお礼を捧げていくとして、祀るべき神様を奉持してシンガポールに渡った。以来、主人の仕事の関係上、オーストラリア、中国、シ

ンガポールと亘って暮らして、今日まで二十二年間、その毎日には朝夕のおつとめは欠かさず勤め、また、教会にも毎年真実のつくしとはこびを行い、また暮らした地域の天理教の出張所のおつとめにも毎月参拝をして今日に至っている。

その真摯な母親の姿を見て育った孫娘は、当然の如く母を敬い、その言葉には素直に聞き入れてきているのである。

娘は自分の子供に対して常々「人として立派に育ってほしい」と願っている。そのため修養会参加でもあった。

懸命に勉強し励んだ人は、立場や経済などの形は与わるかも知れないが、即、幸せのすべてではない。それを受ける心が立派に成人していなければ、幸せは訪れない。誰もが願う幸せは、求める心の中に他人にも幸せを与える心が内在していなければ、願い通りにはならない。

これから先の世の中は、ますます情緒不安定な人生が待ち受けている。それにはやはり心の修養が不可欠ではなからうか。心の修養は誰もが終生欠かさないものである。

変だつたけれど、いろいろ学べたねー、の方が、相手も気持ち良くになりますね」と聞いて、良い言葉になると、相手に伝わる感じが良くなるんだと思いました。

最後に、皆さんありがとうございます。来年も少ひに行きたいです！

○初めて参加して



大宮 叶愛さん(中1)
空知支部
北実分教会

私は初めて参加したので、2日目ぐらいから「もう帰りたいな」と思っていました。だから最初は笑うことも少なかったと思います。ですがカウンセラーさんが「辛いのはカウンセラーさんも一緒。でもみんな笑っているでしょ、辛いときは口角を上げるのよ」という言葉が、私にとっての魔法の言葉でした。辛い思いをして相談すると、先輩もカウンセラーさんも優しい言葉で、ちゃんと目を見て話してくれました。来年、再来年と少ひに来たら、先輩のような誰かのたすげができる人になり、カウンセラーさんのようにサイ

コーの笑顔で隊員を見てくれる優しい人になりたいです。一人では決して味わえない一週間の体験をさせてくれた両親と会長さん、少ひのみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

○班長になりたくて参加



武永 凜さん(中3)
札幌東支部
札幌分教会

去年は初めての参加だったので、班長の3年生がたくさん話かけてくれて人見知りも少し治った。来年はこんな3年生になりたいと思つて来て、班長になった。どんどん1年生に話しかけて、仲良くなった。北海道よりすぐ暑かったけれど、最後まで一人も欠けることなくひのきしんが出来たことは、とても有難く思いました。お茶コーナーしたり、行進コンテストでおやじ賞を取ったり、一日一日が長いようで終わって早かったと思います。とても大切な思い出になりました。来年はサブカウンセラーになって、みんなの為に動きたいと思つています。ありがとうございました。

ココロソバセ!
YYFes 2019
 10.20(SUN) AM 10:00 START!!
 音楽ステージ
 飲食ブース・体験ブース
 献血・チャリティーブース
 and more...★★★

豪華賞品が
 当たる!
 大抽選会!

大人
 (中学生以上)
 ￥500
 小学生: ￥200
 幼児: 無料

パブリカ
 踊ろうぜ!

お問い合わせ
 YYFes実行委員会 岡田 TEL:090-8192-3558 LINE ID: cake22
 主催: 天理教北海道教務育成部

★各支部YYプロジェクト
 体験ブース・模擬店など
 お楽しみ行事が盛り沢山!

YYFes担当 岡田まで
 Tel:090-8192-3558

会場 北海道教務支庁
 参加費
 ・大人(中学生以上) 500円
 ・小学生 200円 幼児無料
 内容 教区音楽祭をはじめ、
 世界たすけへの挑戦と
 して、献血、チャリテイ
 ブースを企画しており
 ます。

日時 10月20日(日)
 9時受付(献血) 開始
 10時~14時半

コロアソバセ!
 YYFes 2019
 (YYワイワイ楽しむ・陽気
 ぐらしへ、ようこそ)

主催: 北海道教区育成部
 お問い合わせは
 YYFes担当 岡田まで



昨年のワイワイフェスティバル (2018.11.4)

緑化ひのきしん

教区青年会

34年目を迎える洞爺湖町緑化
 ひのきしんが8月30日に開催さ
 れた。

桜公園の広大な敷地を、草刈
 機と手鎌で除草作業を行った。
 例年参加される方も根をあげる
 ほどの作業量だったが、ひのき
 しん後の参加者の顔は達成感に
 満ちていた。その夜には懇親
 会、翌日には洞爺湖町役場職員
 との、親善ソフトボール大会が
 行われた。

今年は平日開催となったが、大
 勢の方々にご参加頂き、事故な
 く終えられたことを心より感謝
 申し上げます。

少年会員を含め、55名参加。



けいごばん

◎法律に関する諸問題でのご相談
 の方は弁護士を紹介致します。
 ◎教務支庁内の書記(渡部)
 までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後
 6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催し
 ていきます。(三布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式
 をおこなっております。

訃報

・松家信雄様 8月6日出直 (90歳)
 神楽分教会 教会長 (旭川支部)

北海道教務支庁日誌抄

(8月19日~9月18日)

- 8月 25日 主事会
- おちば教区事務所
- 30~31日 青年会緑化ひのきしん
- 31日 母親講座Bブロック
- 道の教職員 会議
- 布教の家 齋祭
- たすけ推進会議
- 9月 6日 支部長会議
- 7日 教区記念祭
- 天理時報普及推進大会
- 基礎講座
- 8日 学担 まなびば
- 15日 道の学生ひのきしんデー
- 16日 教区報編集会議
- 18日